

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		伊丹市立児童発達支援センター		公表日 2025年 2月 7日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切である。	○		訪問の目的に応じて資材や工具等、持参し必要に応じてその場で修正している。	訪問先の環境など、事前の情報収集に努める。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切である。	○		2人体制で役割分担を行って訪問し、それぞれの視点から子どもの姿を観察し、訪問先の先生と情報共有や提案等を行っている。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	○		子どもに関わりのある職員がPDCAサイクルを用い、訪問の目的について確認し、訪問後は振り返りを実施している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	○		評価表は今年度より実施する。	保護者の意向を知り、内容について職員で共有する場を設け、改善につなげていこう努める。
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	○		定期的な会議や用紙への記入等で、一人一人の意見を配信できる機会を設け、職員の意見を業務改善に活かしている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	○		外部評価は今年度からのため、保護者向けや訪問施設評価表により、評価を受け、内容については職員で共有し業務改善に努める。	今後も引き続き、業務改善に努める。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている。	○		年2回地域の事業所や就学前施設、小学校や市民の方に向けて研修会を実施している。また、外部研修の案内が来た際は、職員に周知し啓発を行っている。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成している。	○		保護者のニーズを聞き取り、多職種で課題を分析し、計画書の作成を行っている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援に関わる複数の職員で検討している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいる。	○		保護者の要望で実施するため、訪問する際には目的を伝えている。訪問後の報告書については、話し合いの結果も含めた内容となり、訪問先の意向も含まれている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	○		計画書の内容を職員で確認して、訪問している。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している。	○		実際の保育や授業中に伺い、その時の姿勢や子どもの行動を観察し、具体的な支援を行ったり、行動の意味を確認し合い、支援方法を共有している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されている。	○		日常生活をスムーズに営めるよう、子どもにあった支援内容を設定することに努めている。また、職員間の共通理解のためガイドラインの確認している。	引き続き、職員間でガイドラインの確認を実施し、共通理解に努める。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われている。	○		計画書の内容を職員で確認して、訪問している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	○		訪問前に、子どもを観察するポイントや訪問先の職員と共有すべき内容等、確認している。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	○		訪問後は振り返りを行い、報告書に記載している。		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っている。	○		現状行われている支援の継続や今の環境でできる支援方法を提案している。		

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げている。	<input type="radio"/>		訪問先と保護者の同意を得て、必要に応じて写真での記録、また報告書への記載を行っている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	<input type="radio"/>		保護者から依頼があった際には前回の計画書を見直し、要望に適した計画案になるよう努めている。	引き続き行っていくよう努める。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画している。	<input type="radio"/>		会議は保育中と重なっているため、通所部門のリーダーや相談支援担当の職員が、子どもの状況を把握し、参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	<input type="radio"/>		公の施設として連携は積極的に行い、支援体制を整えている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	<input type="radio"/>		移行先の先生が訪問し、子どもの様子を観察したり、聞き取りにて支援内容等、情報共有を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させている。	<input type="radio"/>		研修案内を提示し、積極的に参加している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	<input type="radio"/>		会議は保育中と重なっているため、通所部門のリーダーや相談支援担当の職員が、子どもの状況を把握し、参加し情報共有を行っている。	引き続き会議に参加していない職員にも情報共有ができるよう努める。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っている。	<input type="radio"/>		来所時に、懇談や相談の中で子どもさんの現状を聞き、共通理解を図っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている。	<input type="radio"/>		情報提供として他機関で実施している研修を案内している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	<input type="radio"/>		説明者が契約時に行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っている。	<input type="radio"/>		書式、事前連絡時に説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点等を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	<input type="radio"/>		作成時に利用目的や主訴を聞き取り、説明時に意向の確認を行っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ている。	<input type="radio"/>		訪問前に、内容を確認して了承を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	<input type="radio"/>		施設利用時や手続きの更新などで担当職員が対応している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしている。	<input type="radio"/>		通所部門で実施している。通所と利用している方が、保育所等訪問支援も併用している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	<input type="radio"/>		相談内容を聞き、適切に対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	<input type="radio"/>		保育所等訪問支援の連携については、保護者同意のサインをするため紙面上での連絡・情報発信をしている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意している。	<input type="radio"/>		保護者の同意をもらい、十分留意している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	<input type="radio"/>		円滑なコミュニケーションが取れるように配慮している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っている。	<input type="radio"/>		相談内容に応じ、職員が適切に対応している。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っている。	○		訪問支援時に行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っている。	○		訪問後は説明を行い、情報共有している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意している。	○		訪問先での写真撮影の同意や情報開示に留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っている。	○		訪問先の現状を把握し、支援内容を確認した上で取り組みやすい支援方法を伝えている。信頼関係の築きに努めている。	引き続き行っていくよう努める。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	○		契約時に説明し、来所時に実施される訓練には参加してもらう。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	○		安全計画に基づき、研修や訓練の実施や災害等マニュアルの掲示し、安全管理に留意している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	○		センター内のヒヤリハットに準じる。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	○		研修を実施している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	○		契約時に説明し、同意をいただき支援計画に反映している。	